

具体的状況で創り出す『おしえかた』

～わかる・できる・楽しい～

“Maneras de enseñar” generadas en situaciones reales:

“Lo entiendo”, “Puedo hacerlo”, “Es divertido”

第10回 関西スペイン語教師の集い（第124回関西スペイン語教授法ワークショップ）

ワークショップ 2

2019年2月14日, 関西学院大学梅田キャンパスハブスクエア

X Encuentro de Profesores de Español en Kansai(CXXIV Reunión de TADESKA), **Taller 2**

Campus de Umeda de la Univ. Kwansei Gakuin (Osaka), 14 de febrero de 2019

企画：小川雅美・柳田玲奈 司会：柳田玲奈

Taller organizado por Masami OGAWA y Reina YANAGIDA

moderado por Reina YANAGIDA

本資料について (Sobre este documento)

- 本資料は、ワークショップで用いたスライドを、実施報告用に修正・加筆したものです。
- 議論の内容ではなく、ワークショップの手順および考え方についての報告となります。議論の内容は掲載しませんが、別資料として、参加者が作成し、ネット公開用に提供を受けた「おしえかたシート」をアップロードしています。
- 加筆は日本語のみによる解説で、斜体で記載しています。
- スペイン語はネイティブチェックを受けていませんので引用はお控えください。

作成者：小川雅美。実施報告作成日：2019年2月26日

- *Este documento es una versión modificada y aumentada de las diapositivas que usamos en el taller.*
- *Este documento constituye un informe del procedimiento y de las ideas de este taller, y no del contenido de las discusiones que tuvimos sobre el tema. En nuestro sitio web hay otro archivo, de las fichas de “manera de enseñar”, elaboradas y ofrecidas por los participantes del taller.*
- *La explicación añadida para este informe solo está en japonés y está puesta en cursiva.*
- *El texto en español está sin revisión por profesor nativo. Aun así esperamos que les sirva a los interesados para comprender el contenido de este taller.*

*Osaka, 26 de febrero,
Masami Ogawa*

本ワークショップの内容と目的 (Contenido y objetivos de este taller)

内容 (Contenido)

参加者全員が「自分が実際に行って、有効だと思ったおしえかた」を、そのおしえかたの狙いや有効になる条件の分析をしつつ、互いに紹介する。

(Todos los participantes analizan algunas de las maneras de enseñar que fueron realizadas por ellos mismos y que les parecieron eficaces, y se las presentan mutuamente.)

目的 (Objetivos)

- 話し合う（言語化する）ことによって自分の創意工夫を相対化する。
(Relativizar nuestras creaciones a través de la comunicación o verbalización.)
- 他の教師の実践例を知って発想を豊かにしていく。
(Enriquecer nuestras ideas, enterándonos de la práctica de los colegas.)

進行予定 (Horario)

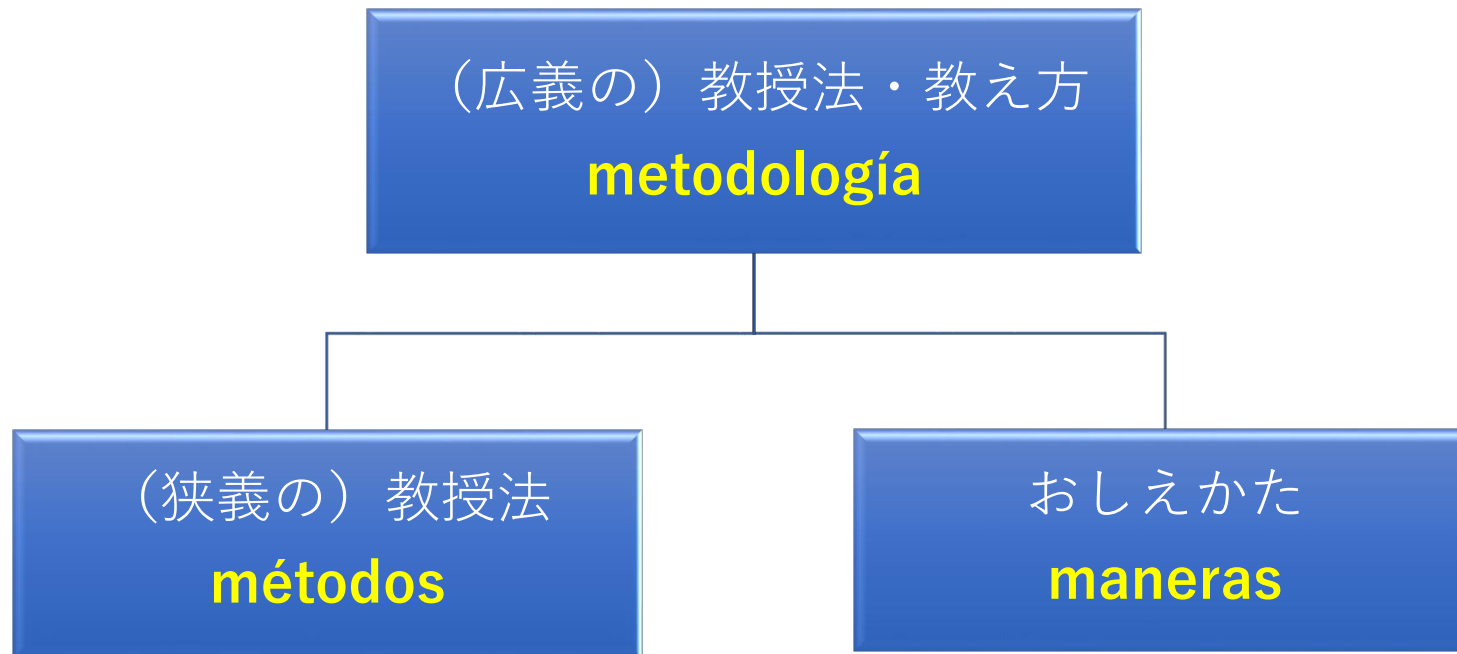
時刻 (Horario)	時間 (Duración)	活動 (Actividad)
14:20 -14:50	30 min.	導入と「おしえかたシート」の準備 (Introducción y preparación de fichas de “mi manera de enseñar”)
14:50 -15:10	20 min.	机とシートの配置 (Colocación de las mesas y las fichas)
15:10 -15:40	30 min.	シートの自由な見学。関心のあるシートに付箋を貼る (Lectura libre de las fichas. Se ponen “pósitos” en las fichas)
15:40 -15:55	15 min.	休憩 (Pausa)
15:55 -16:55	60 min.	参加者が特に注目したおしえかたについての全体ディスカッション (Discusión general sobre las maneras que llamaron atención a los participantes)
16:55 -17:15	20 min.	グループで互いのおしえかたを紹介しあうディスカッション (Discusión en grupo sobre las maneras presentadas por los miembros del grupo)
17:15 -17:30	15 min.	まとめ (Resumen y fin del taller)

実際には、開始時間が遅れたため時間調整をした。17:45までグループディスカッションをし、最後は全体のまとめは行わなかった。

導入：「教授法」と「おしえかた」

Introducción: métodos y maneras

本ワークショップにおける「教授法」と「おしえかた」(Términos empleados en este taller)



前のページの表の考え方

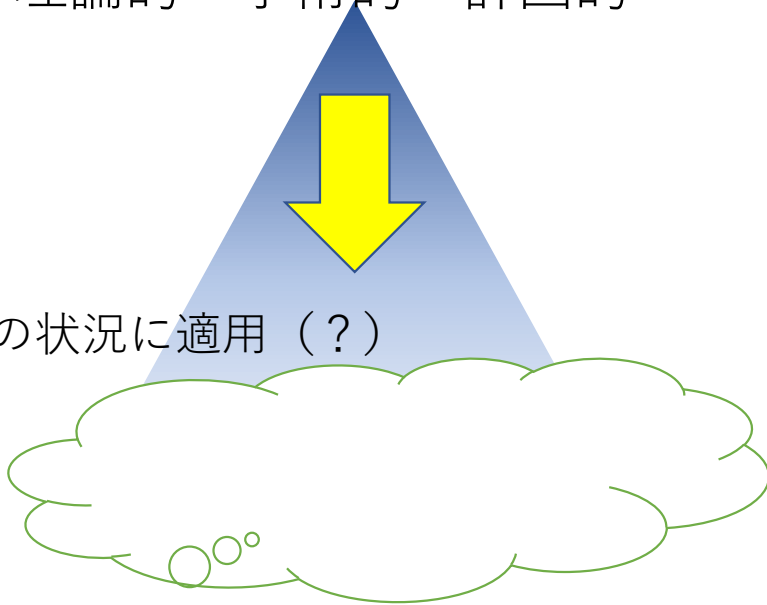
- 学問分野としての「教授法」は、「理論→計画→実施→検証→バージョンアップされた理論…」というサイクルを想定することが多い。一方、現実には、現場の状況の中で、習慣的行為・即興も含め、教える活動をしているその方法（「おしえかた」）は多岐にわたるであろう。
- 本日のイベントでは、ワークショップ1（午前実施）で学問分野からの「（狭義の）教授法」、ワークショップ2（午後実施）では、現場の状況（教師個人も含まれる）から実際に行われた「おしえかた」、この2つの側面・方向性を、「（広義の）教授法」というテーマに位置づける。
- 「（狭義の）教授法」と「おしえかた」に優劣はなく、横並びの関係であると見る。（付記：この2つが分断されているのか相互構成的であるかは、個々の研究手法や事例による。本ワークショップでは相互構成的であると考え。）
- （参考）これらの考え方のヒントとなった文献：
 - サッチマン, L. A. (佐伯胖監訳) (1999) 『プランと状況的行為—人間・機械 コミュニケーションの可能性—』 産業図書
 - 福島真人 (2010) 『学習の生態学—リスク・実験・高信頼性—』 東京大学出版会学術的には、「状況的学習論」の考え方です。

演繹と帰納

(狭義の) 教授法

理論的・学術的・計画的

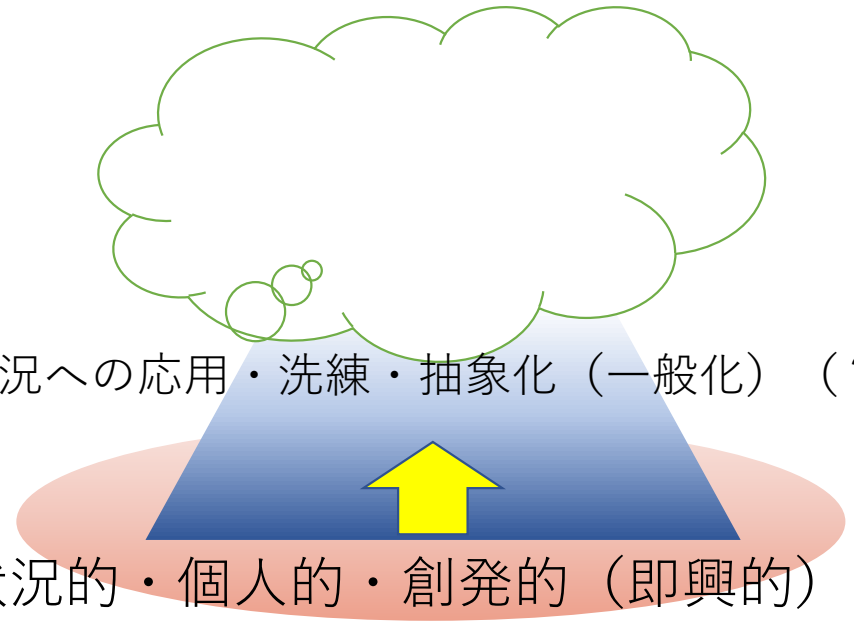
実際の状況に適用 (?)



おしえかた

他の状況への応用・洗練・抽象化 (一般化) (?)

状況的・個人的・創発的 (即興的)

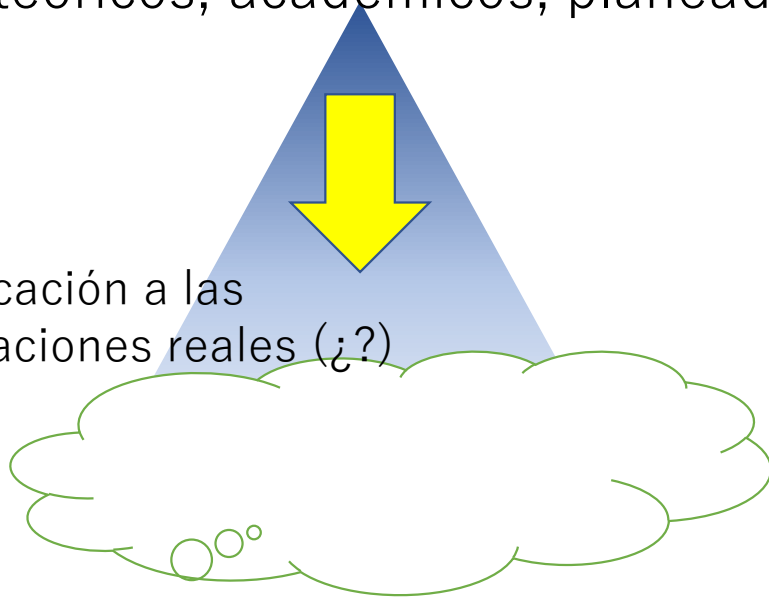


Dirección deductiva vs. Dirección inductiva

métodos de enseñanza

teóricos, académicos, planeados

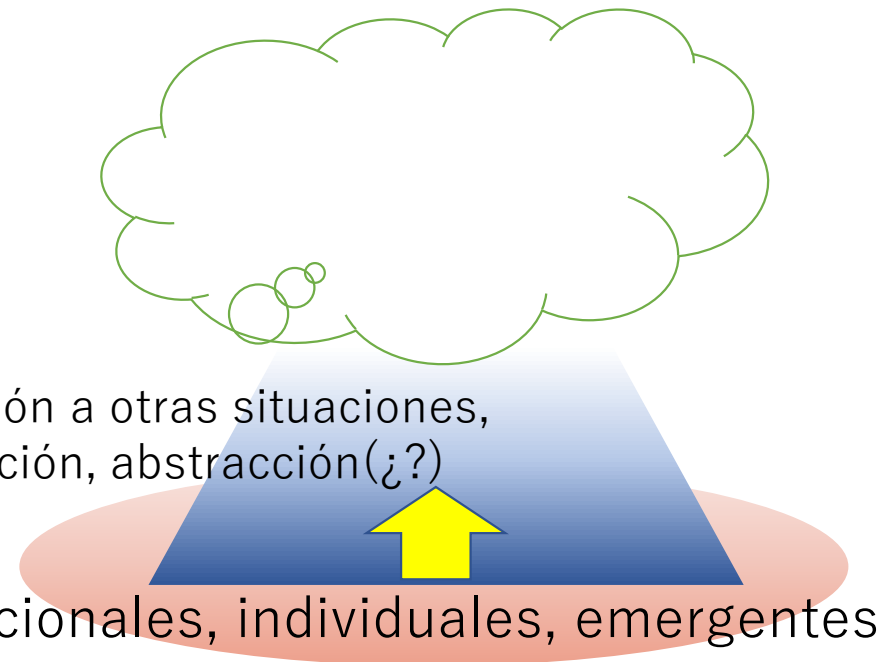
Aplicación a las
situaciones reales (¿?)



maneras de enseñar

Aplicación a otras situaciones,
elaboración, abstracción(¿?)

situacionales, individuales, emergentes



前のページの図の考え方

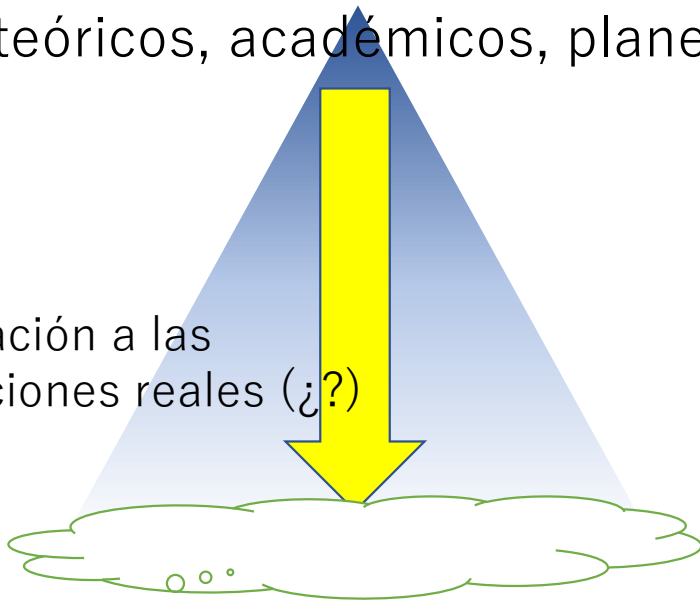
- 単純に図式化するならば、「(狭義の)教授法」はトップダウン的性格を持つ。つまり、学術的であるがために理論構築を志向するが、教授法研究は現実の教育活動の質的向上をめざす以上、現場にその理論が適用されることが求められる。
- 一方、「おしえかた」は、ボトムアップ的性格を持つ。学術的な理論を認識しようがしまいが、教育活動の現場が実在している以上、そこで生じる教師の行為にはなんらかの実現の仕方、つまり「おしえかた」が存在する。この「おしえかた」を省察したり、他の場面に応用するプロセスで、思考はより概念的になっていく。つまり、「教育観」が形成されていく。
- トップダウンにおいては、理論から導き出される現場への応用の提案や企画が、具体的な現場において実用可能なのか？ボトムアップにおいては、個々の教師が自分の「教育観」をどう築いていくのか？いずれも見えにくい(図の雲の部分)。

本日の試み (Intento de la jornada de hoy)

métodos de enseñanza

teóricos, académicos, planeados

Aplicación a las situaciones reales (¿?)

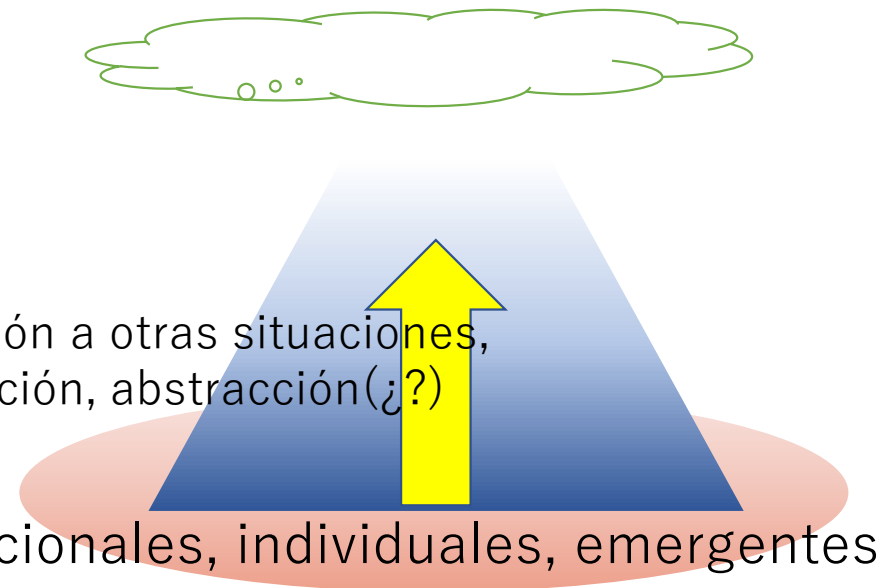


日本語版は省略。

maneras de enseñar

Aplicación a otras situaciones, elaboración, abstracción(¿?)

situacionales, individuales, emergentes



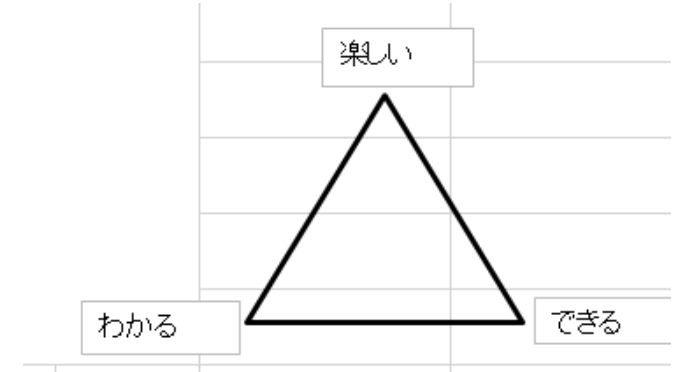
前のページの図の考え方

- イベント全体（第10回「関西スペイン語教師の集い」）では、ワークショップ1で、トップダウンの矢印をできるだけ現場（現実）に近づけていくプロセスをたどり、ワークショップ2で、ボトムアップの矢印を少し上に伸ばすプロセスをたどろうとした。
- このようにして、それぞれの方向の先にあるもやもやがクリアになっていくことがイベントの狙いとなった。
（付記：目的・狙いをあまり硬直的に考えると活動がぎこちなくなりがちなので、具体的な目標到達を強くないようにした。）
- ワorkshop2は以上のような位置づけでの活動であった。

「おしえかたシート」の記入（Preparación de las fichas）

氏名:	アップロード: 可・不可
1. 具体的な実施内容・方法	
2. 実施の理由・ねらい:	
3. 実施可能になった条件:	

Tu nombre:	¿Se puede subir a Internet?:	SI / NO
1. ¿Qué enseñaste y cómo lo enseñaste?		
2. ¿Por qué y/a para qué usaste esta manera?		
3. ¿Cuáles podrían ser las condiciones/situaciones que hicieran posible y/a eficaz esta manera?		



前のページの図（「おしえかたシート」）について（1）

• 記入内容

- 自分が**実施し、「有効である」と感じた「おしえかた」**の概略
（教案ではない。事実を書く。参加者はネガティブコメントをしないという前提）
- その「おしえかた」の狙い、実施可能になったと思える条件（事後考察でよい）
- △には、教師が学生たちにどういう効果をねらってその「おしえかた」にしたのかを記入（事後考察でよい）

書き方

3つの頂点（「わかる」「できる」「楽しい」）は上下関係ではなく平面的な△の座標。

例えば、3つともまんべんなく狙ったものであれば、△の真ん中に●。主に「わかる」と「楽しい」を狙ったものであれば、それらの頂点を結ぶ辺から少し中に入ったあたりに●。「わかる」と「楽しい」は狙っているが「できる」を全くねらっていなければ、「わかる」と「楽しい」の頂点を結ぶ辺の中間位置（線上）に●。

• 記入方法

- シート1枚につき1つの「おしえかた」を記入する。
- ひとり何枚シートを用いてもよい。
- この作業は、ワークショップ前およびワークショップ中の両方で行う。

前のページの図（「おしえかたシート」）について（2）

• このような方法にした理由

教授法・おしえかたについて、次のような傾向が教師の中に存在するのではないだろうか？

- 紹介される実例は模範的なものである方がよい（例：理論に裏打ちされている、効果を実証されている、学習者がイキイキとしている…）
- 紹介される実例は工夫が凝らされたものの方がよい（例：綿密に計画されている、いろいろな準備物がある、教師が準備に手間暇をかけている…）
- そうでないような実例は紹介にふさわしくないから言わない（例：ゆっくりはっきり話す、文法説明をして学生に訳をさせる、その場の思いつきの方法を使う…）

以上のような「～のほうがよい」⇔「たいしたことはやっていない」というような評価を、教師は下しがちである。自分の職能の向上をめざしているところのような評価的態度は避けられないし、その評価がよりよい教育実践の動機づけにもなる。しかし、実際、短期的あるいは長期的にその「おしえかた」が効果をどうもたらずかは、私たちがすぐ客観的な正解を出せるような簡単な問題ではないのではないだろうか？

したがって、このワークショップでは、そのような判断を保留するという態度を取り、自分自身の直感（やってみた手応え）をとりあえず信じて分析をする、という手順とした。自分の「おしえかた」を安心して開示する（自己開示といえる）は、他者が受け入れてくれるという信頼を前提に可能となる。

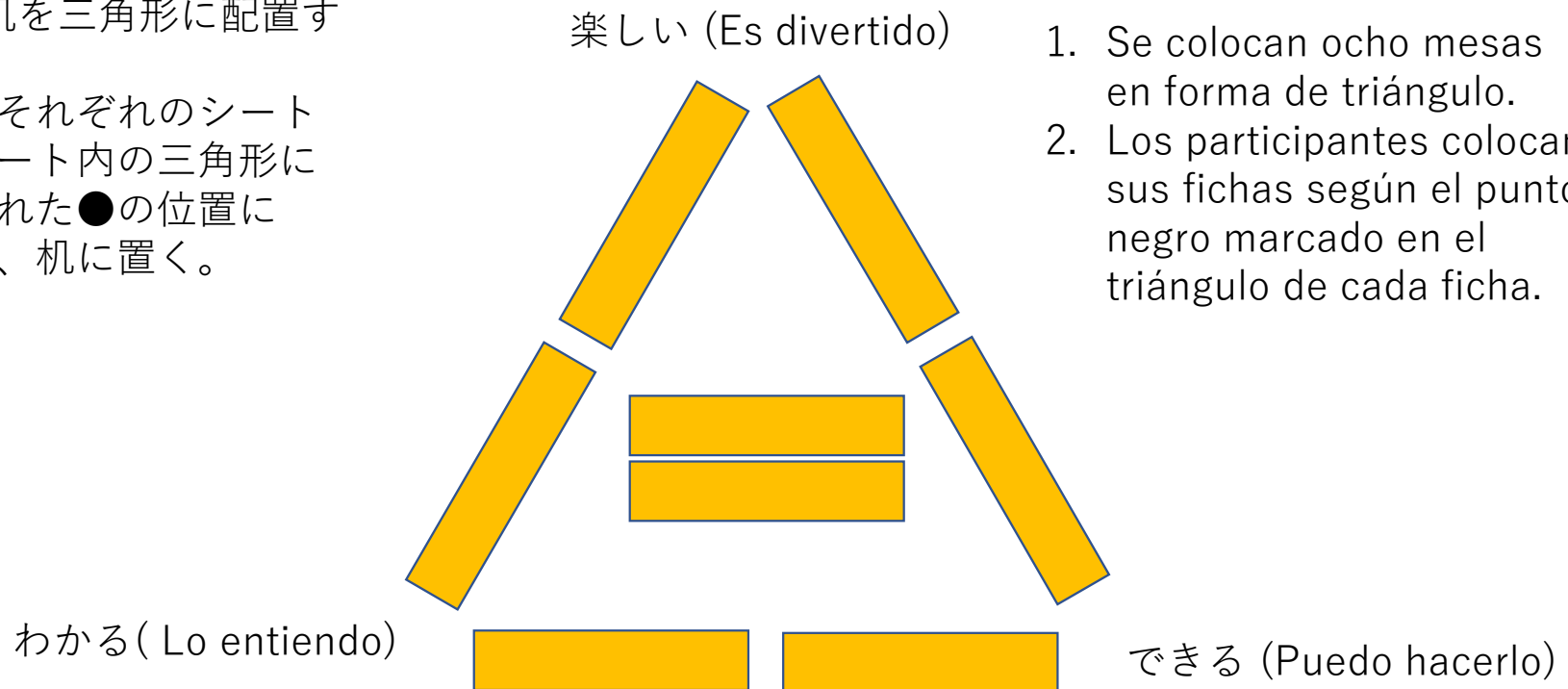
前のページの図（「おしえかたシート」）について (3)

• 三角形に●をつける作業についての補足

- 三角形は、学生が「わかる（認知）」、「できる（行為＝スペイン語による何らかの産出行為）」、「楽しい（情意）」を3極とした、直感的な座標軸。
- 実際には、これら（おそらく他の観点も）は関連しあっているので、「わかるからできるようになる」「楽しいからできるようになる」という効果もありうる。しかし、ここでは、副次的効果ではなく、その「おしえかた」が狙っている直接的な効果に限定する。
- 厳密に位置づけを決める必要はない。似た傾向のシートが並び、机にシートをたくさん並べることで全体的なイメージを共有できればよい。

ワークショップ会場における机とシートの配置替え (Colocación de las mesas y de las fichas)

1. 8つの机を三角形に配置する。
2. 自分のそれぞれのシートを、シート内の三角形に記入された●の位置に従って、机に置く。



**他の教師の「おしえかた」を知ろう
ーシートを読むー**

¡Vamos a enterarnos de las maneras de los colegas! :

Lectura libre de las fichas

方法 (Procedimiento)

- 各自が付箋を持って自由に机を巡回し、置かれたシートを読んで行く。感想、質問等、関心を持ったシートについては、付箋を貼り付ける。付箋にコメントや質問を記入してもよい。

(Cada uno va leyendo las fichas colocadas en las mesas. Pone un Post-it en las fichas que le hayan interesado. Puede escribir comentario o pregunta en el Post-it.)

- このワークショップの前のプログラム（総会）の時間延長のため、当初予定していた休憩時間も含めて、シートを読む時間を確保した。参加人数が13人だったため、混み合うことなく自由に移動したりシートを読むことができた。

全体の話し合い

**—特に関心が多く集まったシートについての
内容紹介と質疑応答・コメント—**

**Discusión general sobre las maneras que
llamaron atención a los participantes**

全体の話し合い (Discusión general)

- 準備

- シート作成者は自分のシートを引き上げた。
- 机をもとの位置に戻した。

- 話し合いの方法

- 付箋の数が8つ以上のシートについて、シート作成者が説明し、質疑応答をした。
 - 付箋の数を競う人気投票のようになってしまうのを避けたかった。しかし、逆に、全員が自分のものを1つ紹介するのも時間がかかりすぎた。
- 次に、付箋に質問・疑問が書かれていたシートの作成者が、その疑問に答えた。
- これらの方法は、事前に厳密に決めたことではなく、その場の状況（参加人数、付箋が張られているシートの状態等）から、即興的に話し合っで決めた。

グループ・ディスカッション
—少人数でシートの内容を紹介しあう—

**Discusión en grupo sobre las maneras
presentadas por los miembros del grupo**

グループ・ディスカッションについて

- 13名の参加者が3つのグループに分かれて話し合った。
- 全体の話し合いで紹介されなかった「おしえかた」をグループの全員が順に紹介し、それについて他のメンバーが質問やコメントをするという方法を取った。
- 本報告者のグループでは、各メンバーが複数のシートを作っていたので、各自が1つずつ紹介した。
- 当初の予定は17時30分までで、その後全体でまとめをすることを漠然と計画していたが、全体のまとめよりグループの話し合いを重視し、会全体の終了時刻の17時45分まで話し合いを続けた。
- 全体の話し合いを先に行っていたので、最後にまとめるということはず、各グループの自然な流れに任せた。

会の終了・事後処理 (Después del taller)

- ディスカッションについては、全体のものもグループのものも、内容の記録は取っていない。(TADESKAとして結論を出すことはしないし、相互に理解できればよいので、議論の骨子をまとめる必要はないであろう。)
- 「おしえかたシート」は、シートの作成者が「アップロード可」としたものについて、TADESKA世話役がとりまとめ、この実施報告書とともにTADESKAホームページにアップロードする。
- なお、「おしえかたシート」は、シート作成者自身が、記名か無記名かを判断している。
- 公開される「おしえかた」は、広くスペイン語あるいは外国語教育に役立つことを希望するが、創作物としての性格が強いものを使用する際には、作成者に対する配慮をお願いしたい。

終わりに

- 全体として、リラックスした雰囲気でした。そのため、たくさんのシートが提出され、多様な「おしえかた」を知ることができました。
- リラックスできた要因として、次のことが考えられる。
 - 参加人数が比較的少なかった（13名）
 - 実施時間に余裕があったこと
 - 自己開示がしやすかったこと（メンバーのほとんどが常連、ネガティブコメントが出ないよう最初をお願いしていた）
- 困難な点、課題もあるが、おおむね当初の目的に沿った活動ができたのではないだろうか。
- 現場の状況にかかわらず成功するようなワークショップづくりは大変難しく、入念な準備と進行者のスキルが必要であろう。しかし、準備段階で当日の状況を把握しきれものではないため、骨格をしっかりと作りつつ、細部は当日臨機応変に調整できるよう、多少緩い部分を作ること、無理な時間配分や高すぎる目標を設定しないことが、成功のポイントであるように感じた。
- 世話役として（小川・柳田）、今回の「教師の集い」およびこのワークショップに参加して下さったすべての方々、また、午前のワークショップの実施者の横山さん、午後のワークショップの企画段階で相談に乗って下さった寺尾さんに感謝します。

（小川雅美）